

令和 5 年度第 1 回久喜市総合教育会議

久喜市教育委員会 教育部学務課

幼保一元化の推進について

幼保一元化とは、幼稚園と保育園の制度を統一し、幼児教育と保育を一体的に提供することで幼児教育・保育の質と量を向上させる政策のことです。

幼保一元化が誕生した背景には、少子化による幼稚園の経営難や待機児童問題などがありました。共働き家庭の増加など、家庭環境の多様化に伴い、求められる保育ニーズも多様化してきており、そうした多様化する保育ニーズへの対応が難しいという課題がありました。

また、幼稚園は文部科学省所管の学校であり、教育課程を実施し、就学前の子どもに教育を提供する施設です。一方、保育園は厚生労働省所管の児童福祉施設であり、就労等により保育を必要とする子どもを預かり、保育を行う施設です。

このように、幼稚園と保育園は制度や基準などが異なっており、相互の連携が不十分であることも課題となっていました。

幼保一元化により、これらの制度や基準を統一し運用することで、幼児教育の水準の均等化や育児サービスの効率化、それぞれのサービスの質の向上と供給量の拡大を図ることができます。

この幼保一元化の制度のもと、幼稚園と保育園の両方の機能を備えた「認定子ども園」の制度が創設されています。

久喜市における幼保一元化について

現在、本市では、文部科学省所管である幼稚園の事務を学務課が行い、厚生労働省所管である保育所等の事務を保育課が行っています。このため、利用者にとっては、保護者の就労状況に合わせた施設選択の相談などの際に、幼児教育と保育の窓口が別々になっており、使いづらい面があるものと考えられます。

こうした状況を解消するためには、市立幼稚園を認定こども園に移行することも解決策の一つですが、配置する職員に幼稚園教諭と保育士の両方の資格が求められることや、乳児室や調理室などの設備を備える必要があること、現在の久喜市の保育需要との兼ね合いなどから、すぐに移行することは大変困難であります。

そこで、幼稚園事務について、教育委員会から市長部局に対して補助執行の協議を行うことにより、市長部局において幼稚園事務と保育園事務を一体的に執行する方法が考えられます（埼玉県加須市、千葉県市川市、京都府亀岡市、広島県福山市、愛媛県大洲市などで実施）。

これにより、子ども・子育て支援法の趣旨に沿った幼保一体化の更なる推進や利用者の窓口のワンストップ化などが期待できます。

また、市の実務面においても、保育料の無償化事務などを一元化して行うことができるようになることから、より効率的な業務執行が可能となるものと考えられます。

幼保一元化（認定こども園）のメリット

・ 幼児教育と保育の質の向上・供給量の拡大

幼稚園と保育園の一元化により、幼児教育と保育の連携が強化されることや、両者の資源の有効活用が可能となることなどから、それぞれの質の向上が期待されます。

・ 保護者の就労支援

保育時間を延長したり、夜間保育や休日保育を提供したりすることで、保護者の就労支援につながることを期待されます。また、保護者の就労状況や働き方により柔軟に対応した、幼児教育・保育サービスを提供することができるようになると考えられます。

幼保一元化（認定こども園）の課題

・ 幼稚園教諭・保育士の質の向上

認定こども園の職員は、幼児教育と保育の両方に対応することが求められます。幼稚園教諭と保育士両方の資格取得や、研修の充実、待遇改善などの施策が必要となる可能性があります。

・ 財政的負担

認定こども園としての施設要件を満たすため、既存施設の改修や整備、増設などが必要となる場合があり、財政的負担が発生する可能性があります。

《参考資料》

●市立幼稚園の園児数（各年5月1日現在）

	中央幼稚園 園児数			
		うち3歳児	うち4歳児	うち5歳児
R5	90人	26人	28人	36人
R4	109人	29人	36人	44人
R3	100人	31人	42人	27人
R2	88人	31人	27人	30人
R1	81人	21人	30人	30人

	栗橋幼稚園 園児数			
		うち3歳児	うち4歳児	うち5歳児
R5	50人	11人	15人	24人
R4	62人	15人	25人	22人
R3	80人	19人	21人	40人
R2	76人	10人	34人	32人
R1	79人	21人	29人	29人